

NEWS Club OVA

第48号

損しない葬儀社の選び方

～広告に惑わされないために知っておきたいポイント～

FP（ファイナンシャルプランナー）・IFA
（金融商品仲介業
／独立系ファイナンシャルアドバイザー）

茂木 政樹



2024年1月15日発行

損しない葬儀社の選び方：広告に惑わされないために知っておきたいポイント

広告には『〇〇葬 〇〇万円～』と書かれていたのに、実際は追加料金で倍以上支払うことになった」、「ネットで見つけた葬儀社に依頼したが、対応が悪く後悔している」

これは、全国の消費生活センターに寄せられた葬儀関連の苦情の一例です。葬儀は人生で何度も経験するものではないため、事前に情報を得ておかないと、思わぬトラブルに巻き込まれることがあります。

本記事では、こうしたトラブルを防ぎ、損をしない葬儀社選びのポイントを解説します。

1. 広告に潜む「〇〇万円～」のカラクリ

多くの広告では、葬儀の基本料金や最低限のプランのみが記載されています。しかし、実際には以下のような追加費用がかかる場合があります。

- 式場使用料：プランに含まれないことが多い。
- 火葬料：自治体ごとに異なるため別途請求されるケースが多い。
- 祭壇や供花の費用：特に一般葬では増額しやすい。
- 参列者の飲食費：香典収入が見込める場合でも準備が必要。

広告に飛びつく前に「総額でいくらになるのか？」を必ず確認しましょう。

2. ネットで葬儀社を選ぶのは危険？

ネットで簡単に検索できる時代ですが、慎重さが求められます。中には、中間業者が広告費を上乗せして紹介している場合もあります。このような業者を利用すると、実際の葬儀費用が予想以上に高額になることも。

おすすめの選び方：

- 地元の評判を確認する：地域密着型の葬儀社は信頼度が高い傾向があります。
- 口コミや体験談を見る：特に直接利用者の声は参考になります。
- 事前相談を活用する：直接訪問して雰囲気や対応を確かめると安心です。

3. 遠方にいる両親の葬儀準備が不安な場合

両親が遠くに住んでいると、急な対応が難しくなることがあります。そのため、事前に葬儀社を探しておくことが重要です。

事前準備のポイント：

- 事前見積もりをもらう：費用の目安を把握でき、家族間で共有しやすい。
- 両親の意向を確認する：希望する葬儀の規模や宗派を聞いておく。
- 遠方でも対応可能な葬儀社を選ぶ：全国対応可能な葬儀社や地元の提携先を持つ業者がおすすめです。

4. 葬儀後の手続きも相談できる？

葬儀後には相続や年金、保険の手続きなど、多くの事務作業が必要です。これらをサポートしてくれる葬儀社を選ぶことで負担を軽減できます。

サポート内容の一例：

- 相続相談：遺産分割や手続きの流れをアドバイス。
- 年金手続き支援：遺族年金の申請方法をサポート。
- 法事の相談：四十九日や一周忌の準備。

こうしたサポートは付加価値として提供される場合が多いので、選ぶ際の参考にしてください。

5. 信頼できる葬儀社を選ぶためのチェックポイント

1. 見積もりが明確か：内訳をしっかりと説明してくれるかどうか。
2. 追加費用がかかる場合の説明があるか：後から驚かないために確認が必要。
3. スタッフの対応が丁寧か：事前相談の際に見極めるポイント。
4. アフターケアが充実しているか：葬儀後の相談窓口があるかを確認。

まとめ

葬儀社選びで大切なのは、価格だけに注目せず、信頼できる業者を選ぶことです。大切な人を見送る場面で後悔しないために、事前相談を積極的に活用し、必要な情報を集めておきましょう。

「〇〇葬 〇〇万円～」という広告には惑わされず、しっかりと中身を見極めることが損をしない第一歩です

お薦めアプリ

保険簿 | 請求もれを防ぐアプリ_保険をデータ化して一括管理

あらゆる保険をまとめて一括管理！写真を撮るだけでカンタンにデータ化！いざという時にどの保険が請求できそうなのかをカンタンに確認することができます。家族との共有もできるので大切な人の保険もお互いに把握ができます。

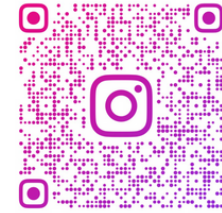
★茂木さんに直接ご相談出来ます。

FP（ファイナンシャルプランナー）

IFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）

茂木政樹

Instagram <https://x.gd/j7WzU>



@RAKUSON1978

LP <https://x.gd/b2F3a>

